

平成23年度 事業計画書

大慈ショートステイ

No.1

1. <<平成23年度法人ヴィジョン>>

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. <<基本方針>>

老人福祉法・介護保険法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」及び法人訓を基本方針として、高齢者の人権を尊重し、自立を目指して、高齢者の精神的、身体的な援助を行う。又利用された皆様との人間関係を深め、笑顔を忘れず“生活の場”として、利用された方及びご家族に満足していただけるサービスを提供する。

3. <<ケア部門>>

<5ヵ年計画>

●最終目標 ①『ふあつとほむな生活を目指す』

※ふあつとほむとは、和みのある家庭的な雰囲気の中で、人と人とのつながりを大切にすること

②『一人ひとりが輝き、あなたが主役になる場所を目指す』

●中期目標

①経営理念やヴィジョンを全員が把握し、徹底していくことで特色ある施設作りができる。

②職員レベルを向上させプロ集団を形成すると共に、サービスの質向上を図る。

●23年度重点目標

①SS充足率97%以上（退所後の実績）を維持、又向上を目指し収入の安定を目指す。

A) CMとも連携、連絡を図り、信頼関係の構築と新規SSの依頼をし易いように努める。

②SS新規ゲストのリピーター率の向上を目指す。

（H22年度は70%以下であった為、70%以上を目指す。）

A) 新規ゲストについてはSS送迎時より不安もある為、職員が傍に寄り添い安心して頂ける様に、コミュニケーションを密にとる。

B) 外出の時間を少しでも作り、楽しみや喜びの増加、一人一人のゲストが輝ける様に努める。（回想法の手法を用いて、昭和の記憶・学習療法等を実施）

C) 一日一度は必ずゲストとのコミュニケーションを図る。

③24年度制度改正への対応を図る。

A) 介護・医療・会計等の制度改正への対応

・研修会等へ参加し、変更内容を確認する。

・会議等を利用し、変更内容の周知徹底と対策を検討する。

4. <<送迎>>

①送迎範囲 西区、須磨区、垂水区 その他の地域については、相談の上決定する。

②送迎時間等 月～土 入所9：30～、退所16：30～ 日曜日は、可能であれば対応。

5. <<栄養科>>

<目標>

①誤嚥事故0パーセントを目指す。

A) 給食会議を活用して他部署間で情報を共有し、勉強会を行う。

B) 安易に食事形態を変えるのではなく、他職種で食事形態を見直し状態にあった食事内容を提供する。

②おやつ作りや行事食をゲストが楽しめる計画をたて継続して実施する。

A) 季節感を考慮した内容で実施する。

B) 実施時にゲストとの会話から次回の実施内容につなげる。

6. <<看護部>>

①施設内において、看護職員の役割を理解し、業務改善及び組織作りに努める。

A) 職員間の連携強化と申し送り機能の充実を図る。

B) フロア配置の実現に向けて取り組む。

C) 看護業務の見直しや改善を図る。

②持参薬の管理

A) 利用中の薬を個別にセットする。

B) 毎日の薬をセットし、間違いのないようにダブルチェックを行う。

☆診療所受診について、主治医への受診が基本であるが、要望があればその都度対応する。

7. <<理学療法科>>

<年間計画内容>

ゲストのADLレベルの状態を観察すると同時に、リハビリが必要であると判断すれば、そのゲストの状態に適合したリハビリ項目を計画・提供・施行する事を担っている。また、必要とされないゲストに対しても様子・状態観察を施行する。その際、順次現場への対応策も報告し二次的・三次的リスクを未然に回避する役割も同時に担う。

<実践目標>

①個別機能訓練者への適切な（在宅生活に基づく）プログラムの作成…随時

8. <<大慈園の特徴>>

①入浴（利用者個々の状態に合わせた入浴形態を考案・実施）

A) 特浴（週2回）→座位式の機械浴にて、寝たきりの方でも安心して入浴できる。

B) 一般浴（週2回）→循環式の大浴場。主に自立歩行者を対象としている。

②排泄

A) トイレ誘導→ゲスト個々の尿間隔に合わせた援助を行う。

B) オムツ交換→定時7回交換実施。排泄アセスメントから個々の尿量に合わせてオムツの種類を決定し、個別援助を行う。

☆ゲスト個々の状態・在宅での状況に合わせて随時サービスを考案・実施する。

③食事

A) ホールにて食べて頂く事を基本とし、ゲスト個々の状態に応じて、ソフト食・スルー食等を提供する。

B) 四季を感じる行事食と選択メニューを実施する。

C) 疾病に応じた療養食を提供する。

④生きがい作り

- A) お誕生会・おやつ作りを実施する。
- B) 四季を感じる行事食と選択メニューを実施する。
- C) 地域との交流を促進する。
- D) 音楽療法を実施する。

⑤機能回復訓練

- A) 機能回復訓練士が、随時リハビリや指導のもと、生活リハビリを行う。
- B) 食事は、ホールにて食べて頂く事を基本とし、離床を促す。

9. 《委員会活動》

10. 《衛生》

11. 《苦情処理》

12. 《職員会議等》

14. 《年間行事・行事食予定》

15. 《職員配置》

☆弥勒園と同様

13. 《月行事・行事食予定》

月行事	頻度	行事食	頻度
理髪、チェリッシュパン販売、たこ焼きパーティー	毎月1回	手作りパーティー	毎月1回
ミュージックセラピー	毎月曜日	行事食(赤飯)	毎月1日
パン販売	毎週水金曜日	おやつ作り	月1回
買い物外出、コーヒー喫茶、化粧療法、	月2回	選択食(朝食)	毎日
ビデオ上映会、カラオケクラブ、嚙下体操等、ラジオ体操、ボール運動、園庭散歩、学習療法	随時	誕生会	28日